

ノートルダム清心同窓会報

The Alumnae News of ND Seishin School

特集

コロナ明けから再開した国際交流活動について



同窓会会長挨拶

同窓会会長
岩崎恵子

同窓生の皆さまいかがお過ごしでしょうか。お元気でいらっしゃいますか。今置かれている場で、花開いていらっしゃるでしょうか。それとも静かに根を張る時期でしょうか。己斐の丘は今、新緑に溢れ新入生を迎えて5月のバザーの準備が始まっています。その中で旧修道院と周辺の整備も進められています。修道院はほぼ半分取り壊され、広場として整備される予定です。旧聖堂などが整備され、新しい場として活用されると聞きました。バザーの頃にはかなり形も整うようなので楽しみにしています。

2月末に入会式を行い70期生169名をお迎えました。一人ひとり希望に胸膨らませて学校を巣立っていく新同窓生に心からのエールを送り、幸多かれとお祈りします。

100年前（1924年）6人のシスターズがサンフランシスコを旅立たれ、日本を目指されました。岡山で受け継いだ学校で新校舎を建築されるなど、日本での努力が徐々に実ってきましたが日米の開戦と同時にアメリカ人シスターは修道院に軟禁状態になり、三次市の敵性国人収容所に収監され、1944年にはアメリカに強制送還されました。残されたのは3人の若い日本人シスターズでした。1946年シスター7人が再来日され、日本の復興と発展に合わせるかのように成長していきました。最初からの学校は、1948年に清心中学校・清心女子高等学校となり、1949年にはノートルダム清心女子大学が開学。1950年に被爆地広島にノートルダム清心中・高等学校を開設、1961年ノートルダム清心女子短期大学設立。岡山には大学の付属小学校・幼稚園も開設されました。修道院も開設されています。100年に及ぶ日本におけるシスター方の足跡を振り返ってその熱意と努力に頭が下がります。100年前に始まった日本のナミュール・ノートルダム会の歴史です。そのおかげで今の私たちがいます。

高校放送部が第71回NHK杯全国高校放送contestテレビドキュメント部門で優勝しました。おめでとうございます。内容は運動場にあった軍需工場について調べたものでした。学校の歴史は大切に引き継いでいきましょう。

母校ノートルダム清心中・高等学校は75周年を迎えます。ささやかですが、学校と共同で記念にカーブとのコラボでカーブTシャツを作りました。赤と紺の2色です。今回はトートバッグもあります。購入希望の方はお申し出ください。

2024年度 執行部役員			
会 長	13期	岩 崎 恵 子 (内藤)	
副 会 長	22期	辻 井 美 紀 子 (住広)	
副 会 長	26期	水 内 映 子 (伊東)	
会 計	13期	閑 田 順 子 (藤岡)	
会 計	45期	栗 本 綾 (房原)	
書 記	30期	伊 藤 康 子 (宮岡)	
書 記	38期	菅 尾 麻 里 (菅尾)	
書 記	38期	細 川 志 織 (菊本)	
会 計 監 査	35期	高 橋 庸 (井上)	
会 計 監 査	47期	久 保 有 子 (南崎)	
学 校 事 務 室 担 当	32期	與 倉 章 子 (濱崎)	

関東支部長	37期	真 壁 直 子 (北村)	
関西支部長	14期	居 藤 信 枝 (大越)	

同窓会名誉会長挨拶

ノートルダム清心中・高等学校学校長
永山 弘



このたび、神垣前校長の後任として本校の校長を務めることとなりました。30年前に着任した際には想像すらしなかった役割ですが、神様からの使命として受け止め、祈りの心をもって日々努めております。

振り返ると、本校はこの30年間、大きな変化を経験してきました。短期大学の閉校やノートルダムホールの建設といった施設面の変化に加え、スマホの持ち込み、制服のスラックス導入、教職員の働き方改革など、時代の流れに応じた改革も進めてまいりました。また2024年はナミュール・ノートルダム修道女会の来日100周年を迎え、シスター方が築いてこられた教育の伝統を未来へ引き継ぐ決意を新たにいたしました。

さらに、旧修道院の改築工事も間もなく完成します。長年、祈りの場として親しまれたこの場所が、新たな形で生まれ変わることに期待を寄せています。

同窓会の皆さまには、引き続き温かなご支援をお願い申し上げますとともに、ますますのご活躍をお祈りいたします。

表紙のこぼれ 28期 天間 和美(新谷)

ご縁をいただき、つまみ細工で髪飾りを作成しております。成人式を迎えるお嬢様のご希望を伺い作成することが多いのですが、お若い方々の感覚に不意を突かれることもあり、我が感性の更新を喫緊の課題とし日々生活しております。活動としては、清心卒業生による「なでしこの会」に毎年出展しております。渋谷先生をはじめ、諸先輩後輩と交流し作品を発表する場があるというのは恵まれた環境で感謝しております。ありがとうございます。

個人情報の取り扱いについて

登録されている個人情報は、同窓会からの案内・会報発送や名簿作成に利用しますが、本人の同意がある時および会長が必要と認めた時以外は開示しません。ただし、各期委員からの同期会開催を目的とした住所シール、名簿の発行要請は従来通り受け付けます。

第69回 同窓会総会

日時▶2024年8月4日(日)

場所▶ANAクラウンプラザホテル広島

幹事▶47期 56期

昨年8月4日(日)、第69回同窓会総会が開催されました。第1部は「マザー・ジュリーの歌」からはじまりました。岩崎会長からは「来年本校は創立75周年を迎えます。卒業生は軽く1万人を超え、同窓会活動も同窓会会報の発行や、関東・関西を含めた同窓会の開催の準備などを頑張っており、今後も学校が繁栄していくよう活動していこうと考えております。女子校であることのもさまざまな厳しさもありますが、女子校の良さを大事にしてほしいと思います。また、年々バザーが縮小されており、同窓会の利益も少なくなっていることから、今回の総会会費の負担も増えておりますが、皆さまお互いに久しぶりにお会いすることで、楽しい時間を過ごしていただければと思います。」とのお挨拶がありました。続いて、永山校長から「神垣前校長から校長職を引き継ぎ、大変荷が重く感じておりますが、一生懸命頑張りたいと思います。本校の近況としては、以前から進めておりました修道院の工事につきまして、同窓生の皆さまからたくさんのご寄付をいただいております、本当に感謝しております。来年の夏頃には完成し、使い勝手もよくなる予定です。そして、嬉しい話題がひとつ。なんと、本校がNHK放送コンテストのテレビドキュメンタリー部門で、全国1位をとることができました。また、今年からフィリピンとの交流がはじまりました。少子化で、本校も女子校としてやっていくのが難しい時代ですが、清心の伝統を守り続けていきたいと思っておりますので、今後とも皆さまのご支援ご協力をお願いしたいと思っております。」とのお挨拶がありました。

次に、2023年度事業報告、決算および監査報告を行い、2024年度の予算が承認されました。続いて永年勤続の先生方の表彰が行われ、20年表彰の久保真太郎先生のお挨拶があり、第1部を閉会しました。

第2部は同窓会コーラスの合唱が披露され、美しくも力強い歌声に会場の皆が聴き惚れ、夏の暑さも忘れる思いがしました。

第3部は恩師を囲んでの昼食・歓談の後、最後に出席者全員で校歌を斉唱し、閉会となりました。

今回の同窓会総会では、会場の後方で清心オリジナルのふりかけ「きよこ」や、広島カープコラボTシャツなどの、卒業生なら一度は手に取ってみたいくなるような素敵なグッズ販売が行われており、こちらも参加者が多数購入するなど賑わっていました。コロナ禍からやっと解放されつつある、そんな雰囲気の中明るい笑顔にあふれたひと時を過ごすことができました。

最後になりましたが、幹事の皆さま、大変お世話になり、ありがとうございました。



学園関係物故者 慰霊祭ミサのお知らせ

毎年ノートルダムホールにて学園関係物故者慰霊祭ミサが行われます。

同窓会本部にご連絡いただいている同窓生の物故者の慰霊も一緒にしていただいております。



クリスマスミサのご案内

毎年12月24日16時より、学校でクリスマスミサを行っています。

2025年度もクリスマスミサを行います。同窓会HPや学校HPでお知らせいたしますので、ぜひご参加下さい。一緒に主の御降誕をお祝いできることを楽しみにしております。

お元気ですか

三宅智香子 先生 (社会科)



同窓生の皆さま、いかがお過ごしでしょうか。

私は、2023年3月末をもって定年退職いたしました。大学卒業後に2年間非常勤として、その後38年間常勤として、いつも目の前のことに追われ、力不足で落ち込むことも何度もありましたが、「できる限りのことを精一杯したい」との思いで生徒のみなさんと過ごし、今思い返すと本当に充実した豊かな日々でした。同窓生の皆さま、保護者の皆さま、先生方に支えていただいたことを、この場をお借りして、お礼申し上げます。

生徒の頑張る姿が私のエネルギーでした。質問に来て「わかった!」と言った時の表情、教室で一生懸命掃除をしていた姿、揉めながらもやり遂げた体育祭の学年やクラス演技、審議委員会で協力して取り組んだ挨拶運動やSDGs活動、社会部の研修旅行で多くの史跡や博物館を巡ったこと…など、ふとした瞬間に思い出します。そして、ご縁のあった卒業生の皆さまが色々なところで活躍されている姿にも、力をいただけてきました。家族や自身が入院した時に、思いがけず卒業生にお世話になったこともありました。

現在は、引き続き講師として清心の教壇に立たせていただくとともに、高齢家族をサポートする日々です。授業は、中学の社会科、高校の「総合的な探究の時間」を担当しています。今は全教室にプロジェクターが設置され、私の授業も板書よりスライド投影が中心となりました。どうすれば生徒がより興味をもち理解を深めることができるかと考えながらプリントやスライドを作成する時間、生徒が様々な反応を見せてくれる授業の時間は、とても楽しい時間です。家族の介護では、はじめての状況に直面して慌ててしまうこともしばしばですが、多くの方々に助けていただき何とか過ごしています。時々会う同期生たち(24期)からも色々なアドバイスをもらい、心強く思っています。「神様はいつも善いお方」…清心での多くの学びと出会いが、自分の支え、軸になっていると改めて感じる今日この頃です。



若き日の先生

卒業生 22期 高橋典子(杉本)



【経歴】

上智大学文学部卒業後、三菱商事東京本社入社。
1984年、テレビ朝日「ニュースステーション」の初代キャスターに約2000名の応募者の中から選ばれる。結婚を機に渡米。帰国後1996年から8年間母校ND清心で非常勤の英語講師となる。2007年から大学の後輩らと3人で女性ポップスコーラスを結成。2014年、ジャズヴォーカリストとしてソロ活動開始。東京と広島のライブハウスを拠点に活動中。著名なジャズ奏者との共演を多数こなす。2022年、デュエット「ひばり」の活動も開始。童謡唱歌、日本の歌で施設の慰問等を行っている。東京家庭裁判所で家事調停委員の顔も持つ。
家族構成 開業医の夫と1男1女(息子は整形外科医、娘は美容外科医)

経歴を振り返ると、せっかく掴んだニュースステーションのキャスターの座を結婚を機にあっさり捨てた事は、今思えばもったいないことですが、昭和一桁生まれの両親のもとに育った私には、「良妻賢母」という言葉が当たり前のこととしてありましたので、良妻はともかく子育てに邁進してきました。歌を始めたのは、息子と娘がそれぞれ大学と高校進学を契機に海外留学したことからです。ひとえに「空の巣症候群」。二人の寂しさを紛らわせるために歌うことに没頭しました。最初はポップスコーラスでジャズに出会ったのは50歳を過ぎてからですが、始めてみるとジャズの奥深さ、難しさにかえって燃えました。東京のライブハウスのドアを叩いてレギュラーになったのは55歳でした。以来コロナ禍がはじまるまで、毎月上京して3軒のライブハウスで歌っていました。その頃には子供たちも帰国して東京で大学生になっていたため、失った時間を取り戻すようにせっせとご飯を作りながらでした。

本格的な二拠点生活を始めたのは3年前、息子がやっと卒業して家族と共に広島に帰ってくれたので、ちょっと「良妻賢母」のシャッターを下ろさせていただこうと(笑)。東京では娘のところに滞在して調停委員の仕事をしながら、ライブ活動をしています。社会に少しは貢献できているかなと思っています。一昨年結成したデュエット「ひばり」で慰問活動するのも大変励みになっています。「できる事をできる時に」をモットーにこれからもマイペースで頑張っていきたいです。



おめでとうございます

永年勤続表彰

稲田博之 先生
20年 (社会科)

この度は勤続20年のお祝いを頂戴し、誠にありがとうございます。こうして節目を迎えられたのも、生徒たち、保護者の皆さま、そして教職員の方々のお力添えのおかげだと思っています。20年間、生徒たちの成長に寄り添い、共に学び続けることができたことは、私にとって大きな喜びであり、誇りとなっています。

また、同窓会の皆さまが築かれた伝統と絆を日々感じつつ、教員として支えていただいていることは、大きな励みとなっています。これからも本校の発展と生徒たちの未来を支える一助となれるよう心新たに努力してまいります。温かいご支援と励ましに深く感謝申し上げますとともに、同窓会のますますのご発展を心よりお祈りいたします。

久保真大郎 先生
20年 (英語科)

この度は永年勤続の表彰をしていただき、ありがとうございます。8月に開催された同窓会総会においても、お祝いいただきましたことに感謝申し上げます。会に参加し、少し初心に返ることができました。

過去20年を振り返ると、自分の未熟さが故にたくさんご迷惑をおかけした思い出もたくさんあります。そんな時に先輩や同僚の先生方、家族の支えがあったため、ここまでやって来られたのだと思います。これからは、中堅として若い先生方を支え、若い時よりも生徒を上手く導いていける存在にならないといけないと感じています。

近況を報告すると過去20年間ずっと演劇部を続けてきましたが、この4月から古典文学研究部の参与となりました。百首ごとの決まり字や下の句の取り札をやっと夏休みに覚えたところでした。何歳になっても学び続け、生徒とともに成長し続ける自分でありたいと思います。

竹舂さやか 先生
20年 (国語科)

この度は永年勤続の表彰をありがとうございます。母校に奉職して20年、現在は司書教諭として図書館を担当しています。

授業で、クラブで、あるいは何気ない放課後のひとときに、当時清心生だった皆さんと分かち合うことのできた日々もくもく充実した日々が、今の私につながり、支えてくれることに改めて感謝しております。

同窓生の方と話していると、時に「今の清心はどう？」と聞かれます。社会の変化に応じて変わった部分はもちろんありますが、好き嫌いはあれど真面目に勉強し、行事には全力を尽くし、そして何より友人と協力し助け合うといった良い伝統は変わりません。受け継がれてきた大切なものを次の世代へと繋いでいけるよう、今後も尽力して参りたいと思います。

関東支部だより

2024年6月23日(日)、品川にて関東支部同窓会が開催され、8期から52期までの卒業生94名が集結しました。



広島から神垣しおり先生、伊賀壽雄先生をお迎えし、神垣先生からは、西日本豪雨やコロナ禍で感じられた生徒への思いを、伊賀先生からは、清心で教壇に立たれた奥様とお嬢様の近況をお聞きました。

またタクラ先生から頂戴した聖堂と修道院の映像、幹事が編集した最近の西広島駅周辺の映像を上映しました。新旧の写真が交錯して大きな歓声が湧きました。

販売ブースでは同窓生によるパレスチナやシリア支援の商品、そして同窓会から「きよこ」ふりかけや神垣先生の著書の販売が行われました。特に「きよこ」ふりかけは200個を調達しましたが完売するほどの人気でした。

この同窓会を無事に開催できたのも、岩崎同窓会長をはじめ多くの方々のご協力のおかげです。改めて御礼申し上げます。

広島から遠く離れた場所でも、清心の絆を大切に、同窓会を盛り上げて参りましょう。

〈関東支部連絡先〉

関東支部長 37期 真壁直子 (北村)

「ノートルダム清心中・高等学校同窓会関東支部」
Facebook グループページ

関西支部だより

2024年11月30日(土)、京都のがんこ高瀬川二条苑にて関西支部同窓会を開催致しました。広島から飯山浩二先生、西尾保恵先生、岩崎恵子同窓会長をお迎えし、13期から51期の合計35名の同窓生にお集まり頂きました。



飯山先生からは、曼荼羅チャートによる目標達成についてご紹介頂き、ついていないと思うときは大谷選手も実践されている「掃除をなさい」という名言を胸に刻みました。

西尾先生は、現在少人数の体育教育を実践されておられ、清心での授業との比較が興味深かったです。先生が若さを保たれている理由が分かった気が致しました。

今回は、山岳部やバスケットボール部の方が多く、また授業、HRについて等、懐かしい話題で盛り上がりました。また、後輩たちの活躍や、ふりかけ「きよこ」についても評判が高く、嬉しく思っております。

高瀬川の水を引いた角倉了以の美しい庭園。しかも紅葉真っ盛りの絶景を見ながらの、恩師や同窓生との時間は楽しくてあっという間に過ぎていきました。世代毎にテーマは異なりますが、皆、生き生きと自分の使命を果たす姿に刺激を受け、また明日から頑張ろう、と力をもらった気が致します。

最後に驚くほど大きな灯籠を背景に集合写真を撮りました。次の同窓会でも一人でも多くの方に会えることを楽しみにしております。

〈関西支部連絡先〉

関西支部長 14期 居藤信枝 (大越)

同窓生の活動

ユリア会

コロナ禍もあり、春分の日前後に開いていたOG信者の会「ユリア会」がしばらく休会状態です。旧修道院改築完成の際には開催できればと思っております。その際は、同窓会&学校HPでお知らせします。学校HPの問い合わせ欄をご利用ください。



清心なでしこ医会

同窓医師の会です。年に1回の総会・講演会・懇親会、学園祭での骨密度測定、在校生の健康診断への出務が主な活動です。



2024年には11年ぶりに、広島学院の同窓医師の会である翠仁会との合同懇親会を開催しました。己斐についてご講演をいただき、手品家所属の2人のマジシャンによるマジックショーを楽しく拝見しました。

新規会員を募集中です。同窓生ならではの意見交換もでき、とても有意義な会です。皆さまの入会をお待ちしています。

〈連絡先〉なでしこ医会事務局

お問合せ 同窓会事務局 TEL082-271-1724

コーラス

私たちは月2〜3回金曜日の午前中に20名程度で練習しています。ある時は昔懐かしい曲や、今流っている曲を歌い、またある時は若い作曲家が作ったリズムの難しい曲に挑戦しています。歌の好きな方は一緒に歌いませんか。

〈連絡先〉9期 石橋秀子(井上) お問合せ 同窓会事務局 TEL082-271-1724

なでしこの会

第39回なでしこの会展、ありがとうございました。

コロナ禍、自粛していたオープニングパーティーも再開しました。作品展を通してメンバー一同、笑顔で分かち合いの時を過ごしました。長年共に歩んで来ました。今回は、新メンバーを迎えたり、懐かしい初代メンバーが訪ねてくださったり、嬉しいひとときでした。いよいよ次回は第40回を迎えます。よろしくお祈りします。

〈連絡先〉23期 渡辺紀久子(鎌田)

お問合せ 同窓会事務局 TEL082-271-1724



英語を楽しむ会

講師の三浦智世子さん(11期)が昨年5月、急逝され、9月以降タクラ先生を迎え「英楽会」を継続しています。15年余りの長きにわたり、異文化理解、多様性重視の教材を取り上げて頂きました。昨今のグローバル社会における“平和”がテーマでした。杉原千畝の「六千人の命のビザ」やチャップリンの“Peter Milwardの冊子”で、彼らの偉大な業績を学びました。レクとして、吉島中工場見学、海田市の西国街道行脚(恒例のガイドさんと)を楽しみました。「英楽会」は「高齢者いきいき活動ポイント」事業対象です。語彙を思い出し様々な年齢の同窓会ならではの“フレイル対策”に参加しませんか。LINEグループのオンライン参加も歓迎します。

〈場所〉袋町市民交流プラザ

〈期日〉第1、3水曜日 午後1:30~3:30

〈連絡先〉13期 古屋敏子

お問合せ 同窓会事務局 TEL082-271-1724



ミスター・タクラの英会話

会場を同窓会室からアクセスの良い袋町交流プラザに24年の9月に移転しました。「英語を楽しむ会」と同じ場所です。対面授業だけでなく、LINEで気軽にオンライン参加もできます。月2回開いています。第2第4木曜日の午後1時30分から3時20分までです。各自の1分間スピーチの後、先生からLINEに送られたトピックについて討論します。1分間スピーチはまさに情報の宝庫!身近なホットな話題満載です。ネイティブのタクラ先生のおかげでヒアリング力、スピーキング力、単語力がつきます。楽しくてあっという間の110分間です。どこからでも参加可能です。お気軽にお問い合わせ下さい。

〈連絡先〉21期 坂尾美奈子(上田)

お問合せ 同窓会事務局 TEL082-271-1724



第2、第4木曜日 13:30~15:20 (同窓会室とSkypeでの配信)



2024年5月25日(土)26日(日)に、「スタンドグラス」をテーマに、学園祭が行われました。差し込む光によって様々な姿を見せるスタンドグラスのように、生徒一人一人が光り輝くそんな学園祭になりました。

お忙しい中、快くお手伝いくださった同窓生の皆さま、会場にお越しくくださった多くの方々にご心より感謝申し上げます。(〇は責任期です。)

次のバザーは、2025年5月24日(土)25日(日)です。開催につきましては、学校ホームページにてご確認をお願いいたします。



マイショップコーナー (土)

22・24・25・26

マイショップコーナー (日)

23・27・28・29



寄贈品販売 (土)

31・30・33・34・35

寄贈品販売 (日)

32・36・37・38・39



うどん・おむすび (土)

44・40・45・46・49・52

53・55・58・60・62・64

うどん・おむすび (日)

42・41・43・48・50・51

54・57・59・61・63・65



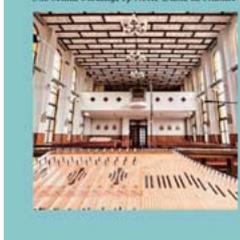
お茶・水 (土)

66・67

お茶・水 (日)

68・69

The Sound Heritage of Notre-Dame de Namur



ノートルダム清心同窓会の音遺産

The Sound Heritage of Notre-Dame de Namur

CD『ノートルダム修道院の音遺産 ～シターと歌う聖母への祈り～』

改築される旧聖堂の響きを「音遺産」として伝えるため、祈りの楽器シターにのせ、マザージュリーの歌・アヴェマリア・平和を祈念する聖歌等17曲をCDにしました。(収益は聖堂保存活用への寄附に充てられます。)

シター：白井朝香 (元・弦楽部講師29K卒)
ソプラノ：益田由身子 (中学音楽部講師29K卒)
テノール：石井翔太郎 (音楽科教員 (賛助出演))

◆2,500円(税込) 別途送料300円

◆申込先(問合先)

Mail: ndheritage2024@gmail.com



同期会だより

8期

開催日 ▶ 2024年11月20日(水) 場所 ▶ ホテルグランヴィア広島 最上階のラウンジ
寄稿者 ▶ 8期 佐藤光子 (高久保)



秋晴れの11月20日、ホテルグランヴィアの最上階のラウンジで8期の傘寿の会を開催しました。仙台、大阪、姫路から駆け付けた友も含め28名の懐かしい顔が揃いました。最上階の会場の大きく開いたガラス戸の向こうに、青い空のもと市内と緑の山がパノラマのように見え、絶好のシチュエーションの秋日和。傘寿の色は黄色、黄色のバラが美しく飾られた会場で、あの日あの時の清心の思い出が語られ、あっという間に青春時代に戻りました。清心の思い出を短歌にうたった友もいて、それを聞くと当時を思い出し、涙ぐむ人もあり、楽しい会話が花が咲きました。皆一本一本黄色いバラを胸に写真を撮った友の顔は、どの人も置かれた場所で咲ききった美しさに輝き、幸福のオーラにあふれて、バラにも負けない美しさでした。心のこもったお土産を手に会場を後にした8期生達は、口々に楽しかった、来て良かったと話し、心に残る、心に沁みた傘寿の会となりました。

10期

開催日 ▶ 2024年10月31日(木) 場所 ▶ グランドプリンスホテル広島
寄稿者 ▶ 10期 高橋真弓 (大北)



卒後60年の同期会、4年半前に企画した同期会がコロナ流行で流れ、「そろそろ集まりたいね」という声を受けて開催しました。関東や関西からも「待ちました!」という返信のお葉書もいただき30名が集まりました。あっという間に60年前の思い出が蘇りました。瀬戸内海を眼下に望む会場に校歌や「川の流れるように」「今日の日はさようなら」と美声(?)を響かせ、「また、会う日を」楽しみに散会となりました。

17期

開催日 ▶ 2024年2月23日(金・祝) 場所 ▶ リーガロイヤルホテル広島
寄稿者 ▶ 17期 藤本善得



17期は「古稀」を迎える年となり、同期会を開催いたしました。2月23日、リーガロイヤルホテルにて、計42名。遠くは関東からお越しいただき、楽しいひと時を送りました。



18期

開催日 ▶ 2024年11月18日(月) 場所 ▶ レストラン イルネッピオ
寄稿者 ▶ 18期 大田京子 (丸山)



2024年11月18日(月) レストラン「イルネッピオ」において同期会を開催しました。

今年、私たちは古希を迎えるため、是非一同に会したいという強い思いもあり、6年ぶりの開催となりました。久しぶりの再会でしたが、年相応の体の不調はあるものの、笑顔とおしゃべりは若い時と変わらず、美味しい食事も楽しみながら、あっという間に3時間が過ぎてしまいました。最後は、校歌を懐かしく歌い、次回の同期会でも元気にお会いしましょうと約束して会を終わりました。

25期

開催日 ▶ 2024年10月13日(日) 場所 ▶ 大手町 巴里食堂
寄稿者 ▶ 25期 黒河恵子(松本)



「出会って50年 25期会」同期会を5年ぶりに開催致しました。渋谷(社河内)綾子先生にお越しいただき、総勢40名で賑やかな会となりました。始めに永眠された先生方と3人の同期のために黙祷を捧げました。そして、今もお変わりなく凛とされた渋谷先生のお話しと各々の場で生き生きと活躍している皆さんの近況報告。席はくじ引きで、その中に当たりをつけ、賞品は「ふりかけきよこ」。次回は2年後でしょうか。毎回集まれる事が元気の源です。

28期

開催日 ▶ 2024年9月22日(日) 場所 ▶ ANAクラウンプラザホテル広島
寄稿者 ▶ 28期 高田有美子(山根)



6年ぶりに還暦同期会を企画しました。グループLINEを作り近況報告やお宝写真を載せながら楽しみに待つこと数か月。赤いものを身に付けて全国・海外から75名が広島に集まりました。

卒業アルバムの顔写真入りの名札をつけて面影を感じながら思い出話をしたり、中2の音楽会の歌声が流れ懐かしく聴き入ったり。ポートレート撮影企画も好評でした。

最後に校歌とマザージュリーの歌を合唱し、再会を約束して閉会しました。

29期

開催日 ▶ 2024年10月13日(日) 場所 ▶ ANAクラウンプラザホテル広島
寄稿者 ▶ 29期会幹事一同



令和6年10月13日、ANAクラウンプラザホテル広島にて「卒業40周年記念29期会」を開催。卒業以来の再会もあり、出席者48名の近況報告、現在の通学路や学園祭の映像に思い出を重ね、感動一入のひと時でした。

二次会や翌日の宮島散策等の様子も即時LINEで賑やかに共有し、お土産の校章刻印のオリジナル饅頭&ふりかけ「きよこ」も大好評。次回「還暦会」での再会が今から楽しみです。

45期

開催日 ▶ 2024年8月11日(日) 場所 ▶ ホテルグランヴィア広島
寄稿者 ▶ 45期 小西華子



2023年7月の同窓会総会に出席していた数人が呼びかけ人となり、約15年ぶりの同期会が実現しました。

前回以降、スマホの普及で日常的な連絡手段が携帯メールからLINEに変わったこともあり、同期全員に連絡できなかったことが残念ではありますが、当日は、北は北海道から南は沖縄まで、さらには海外居住者も含め、32名が集まりました。

長年会っていなかったのに、顔をあわせれば話が尽きることはなく、会がお開きになった後もあちこちで話が弾んでいました。最終的には「次の宴席もありますので」とホテルの方に退室を促されるほどで、中高6年間を一緒にすごした経験というのはなにもものにも代えがたいことを改めて感じました。

今回、同期のライングループも作りました。時々は同期で集まって、近況報告し合ったり昔話に花を咲かせて、再びつながった縁を大切にしていきたいです。

67期

開催日 ▶ 2024年1月7日(日) 場所 ▶ リーガロイヤルホテル広島
寄稿者 ▶ 67期 石原正江、佐々木瑠奈、下山瑞季、湊優奈



2024年1月7日(日)、67期の初めての同窓会をリーガロイヤルホテル広島で開催いたしました。大学に入学後初めて顔を合わす友達も多く、非常に懐かしい気持ちに浸りつつも、制服とは打って変わったそれぞれの個性ある姿に少し驚きました。どこに進学したのか、今何をしているのかを伝え合い、芦田先生から頂戴したお言葉を受け懐かしい日々を思いを馳せつつ、また再び同級の仲間と繋がることのできたことを心から嬉しく思いました。

特集

コロナ明けから再開した 国際交流活動について

新型コロナウイルス感染症による制約が続いた数年間を経て、2023年度より国際交流活動が再開されました。世界の現状を知り、多様な文化や価値観を体感する機会は、これからの社会を生きる生徒たちにとって非常に重要なものです。特に2024年度、本校では初めてフィリピンへの研修旅行が実施され、その後8年ぶりに韓国への研修旅行も行われました。本校の数ある国際交流活動の中でも、今回はこの2つの具体的な活動内容と学びを紹介したいと思います。

1 フィリピン研修旅行 ～貧困と向き合い、豊かさを考える旅～

2024年7月末、広島空港から旅立った一行は、フィリピン・マニラへ向かいました。初めて訪れる異国の地に、生徒たちは驚きと期待を胸に抱きながら研修をスタートしました。

2日目、路上生活を余儀なくされている子どもたちの現状を知り、彼らとの交流が行われました。現地の方々から直接話を聞く中で、生徒たちは日本では想像し得ない厳しい現実と直面し、貧富の差や社会問題への理解を深めました。これにより、教科書の内容が現実のものとして心に刻まれる体験となりました。

4日目には、従姉妹校であるナガ高校を訪問。生徒同士が授業に参加し、ゲームや趣味について語り合うことで、国を越えた友情が芽生えました。最終日には、日本人駐在員の方々から現地での生活や仕事について話を伺い、将来の可能性を考える貴重な機会となりました。

生徒の感想には「当たり前のように思っていた日本の生活の豊かさに気づいた」「異なる文化や背景を持つ人々と対話することの大切さを学んだ」といった声が多く、心に残る研修となりました。



2 韓国研修旅行 ～歴史と文化に触れる旅～

続いて、8月には韓国研修旅行が行われました。初日には景福宮や国立民俗博物館を訪れ、韓国の伝統文化や歴史に触れました。館内では、日本とは異なる礼儀作法や文化の違いに驚き、日常のふるまいにも意識を向ける機会となりました。

2日目には烏頭山統一展望台を訪れ、南北朝鮮の分断の歴史や現在の状況について学びました。北朝鮮を眺めながらガイドからの説明を聞く中で、戦争がもたらした影響の深さを実感した生徒も多かったです。

3日目は博文女子高等学校との交流がメインでした。お互いの学校や文化についてプレゼンテーションを行い、学食での食事体験や学校施設の見学を通じて、生徒同士の距離が一気に縮まりました。放課後やホームステイ先ではホストファミリーと共に観光や買い物を楽しみ、韓国の家庭文化や生活スタイルを直接体験することができました。



国際交流係久保真大郎先生に今後の展望を伺いました！

2024年にフィリピンのビコール地方にあるナガ高校を生徒10名と引率教員2名で訪問し、韓国の従姉妹校にあたる博文女子高校を生徒25名と引率教員2名で訪問しました。こうした訪問を通じて、日本と異なる価値観に触れて、生徒は自分の殻を打ち破る経験をしたり、これまで当たり前と思っていたことが、どんなに恵まれていたのかに気づく経験をしました。

国際交流係としては、日本と異なる現状や価値観に触れることで、自分の在り方を見つめ直し、より善く生きることにつながる研修の在り方を今後も模索していきたいと考えています。

2024年度 在学生大会報告

【囲碁】

- ・第48回全国高等学校囲碁選手権大会広島県大会 個人戦 優勝
- ・第47回広島県高等学校囲碁選手権大会 団体戦 優勝 個人戦 2位、4位、5位
- ・第28回中国高等学校囲碁選手権大会 女子団体戦 優勝

【水泳】 高校水泳部

- ・第72回中国高等学校選手権水泳競技大会 50m自由形 第2位
- ・令和6年度全国高等学校総合体育大会水泳競技大会（インターハイ） 出場

【陸上】 高校陸上部

- ・第33回中国高等学校新人陸上競技対校選手権大会 100m・200m 第7位

【放送】 高校放送部

- ・第71回NHK杯全国高校放送コンテスト テレビドキュメント部門 優勝

【放送】 中学放送部

- ・第41回NHK杯全国中学校放送コンテスト 朗読部門 入選、出場 テレビ番組部門 出場

【箏曲】 高校箏曲部

- ・第36回広島県高等学校邦楽演奏会 最優秀賞

【古典文学研究部】

- ・第27回中国地区高等学校小倉百人一首かるた大会 準優勝
- ・第48回全国高等学校総合文化祭（2024ぎふ総文） 決勝トーナメント進出 広島県代表
- ・第32回広島県高等学校小倉百人一首かるた大会（上級者の部） 優勝

【山岳】 高校山岳部

- ・令和6年度全国高等学校総合体育大会登山大会（インターハイ） 団体女子5位

【合唱】 高校合唱部

- ・第48回全国高等学校総合文化祭 清流の国ぎふ総文2024 出場
- ・第63回中国合唱コンクール 高等学校部門 銀賞

【音楽】 中学音楽部

- ・第63回中国合唱コンクール 中学校部門 銀賞

【クラギタ】

- ・第36回広島県高等学校ギター・マンドリン音楽祭 優秀賞
- ・第47回広島県中学・高等学校ギター・マンドリンフェスティバル 優秀賞

【演劇】 高校演劇部

- ・第64回広島県高等学校総合演劇大会 銀賞（広島県高等学校文化連盟会長賞）

（2024年12月31日現在）



なでしこ通信

52期 兼樹 綾

ノンフィクション分野の書籍編集の仕事をしています。ノンフィクションといっても「小説以外」くらいのざっくりした感じです。担当した全ての本を紹介したいのですが文字数の制約もありますので、10月~12月に刊行した担当書を持った写真を掲載します。ちなみに売れない作家としても活動しており、もう一枚の写真は自分で書いた小説の本です。書くことも編集することも、「世界には自分の知らないことがあり、一生かかっても学びきれない」という事実に向き合っている仕事です。語る人がいても、文字の形で残らなければ消えてしまう声もある。その声のうちのひとつでも世界に投げ返し、小さな波紋を作れたら……と思いながら、日々働いています。



同窓生の皆様へ

同窓会総会のご案内

ノートルダム清心中・高等学校同窓会
会長 岩崎恵子

新緑の候、同窓生の皆さまには、各方面にてますますご活躍のことと存じます。

さて、2025年度同窓会総会を下記のとおり開催いたします。懐かしい先生方、同級生と久しぶりにお顔を合わせて、楽しいひとときをお過ごしください。

ご友人同士、お誘い合わせの上、多数のご参加をお待ちしております。

記

日時：2025年8月3日(日) 11:00~14:00
 場所：ANAクラウンプラザホテル広島
 (旧全日空ホテル)
 広島市中区中町7-20 Tel.(082)241-1111
 会費：8,000円(当日会場受付にてお支払いください)
 学生は半額(4,000円)です。

総会次第

- ◎第一部 総会
- ◎第二部 同窓会コーラス
 高校放送部の作品「同じ地面を踏みしめて」上映
 ~第71回NHK杯全国高校放送コンテストテレビドキュメント部門優勝~
- ◎第三部 恩師を囲んでの歓談(昼食)

出席される場合は、同封のハガキまたは出席者フォームにてお知らせください。出席者フォームへは下の二次元コードからアクセスできます。

準備の都合上、出席のお知らせは7月13日(日)までにご連絡ください。なお、7月27日(日)以降の出席の取消については会費を徴収させていただきますので、ご了承ください。

今年度総会の幹事は48期、57期です。

〈連絡先〉同窓会事務局
 Tel.(082)271-1724
 (月~金 10時~13時)
 E-mail dousoukai@hiro-seishin.ed.jp

出席者フォームはこちら



ジュリー教育基金へのご協力をお願い

創立75周年、ノートルダム会日本宣教100周年の節目として、ジュリー教育基金(一口5千円)のご協力をお願いしております。用途は、1. 旧修道院改築関係の整備、2. 校舎やICT環境の整備、3. 奨学金制度の拡充、4. 周年記念事業費用の4項目です。4口以上の方には返礼品もご用意しています。2025年度中に旧修道院聖堂をはじめとする改築が完成予定ですので、お披露目の際にはぜひお越しください。

〔同窓生の皆さまへ〕

- ◆同窓会へのご質問・ご連絡はこちらまで E-mail dousoukai@hiro-seishin.ed.jp
- ◆執行部役員を募集しています。ご連絡ください。
- ◆新型コロナウイルス感染症の状況によって予定変更の可能性があります。各連絡先にご確認ください。

◆こちらをご覧ください

ノートルダム清心中・高等学校ホームページ



ノートルダム清心中学校・高等学校 Instagram、Facebook、YouTube には上記学校ホームページトップの最下段にある各アイコンからお入りください。

ノートルダム清心中・高等学校同窓会ホームページ

※住所・氏名変更の際はこちらのHP「住所変更申請フォーム」より手続きしてください。



会報誌 電子版



◆バックナンバーもこちらからご覧いただけます。

編集委員

- 50期 池田美穂(辻)、道面朋子(二井谷)
村上沙也香(峠)
- 51期 伊折千佳、石橋はるか、岸村有記
坪井英子(右田)
- 52期 大川聡美(下田)、棚橋梨奈(熊野)

編集後記

本号も最後までお読みいただき、ありがとうございました。
 今号では、昨年度の国際交流プログラムや在学生の活躍、同窓生の皆さまの多彩な活動を通じて、懐かしい思い出と新たな発見をお届けできたのではないのでしょうか。
 本誌をお読みになったご意見ご感想がございましたら、ぜひお聞かせください。頂戴したお声を参考に、次号もさらに皆さまに楽しんでいただけるような誌面を目指してまいります。
 最後になりましたが、原稿依頼に快く応じてくださった皆さまに心より感謝申し上げます。今後同窓生の絆を深める一助となれるよう、編集委員一同努めてまいりますので、次号もどうぞお楽しみに!
 (編集委員一同)